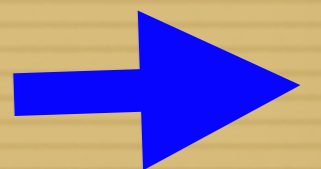
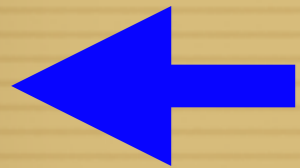




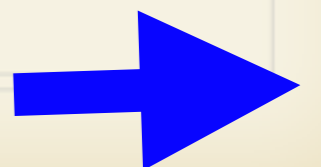
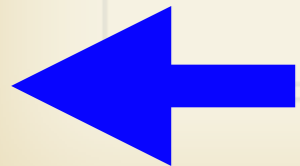
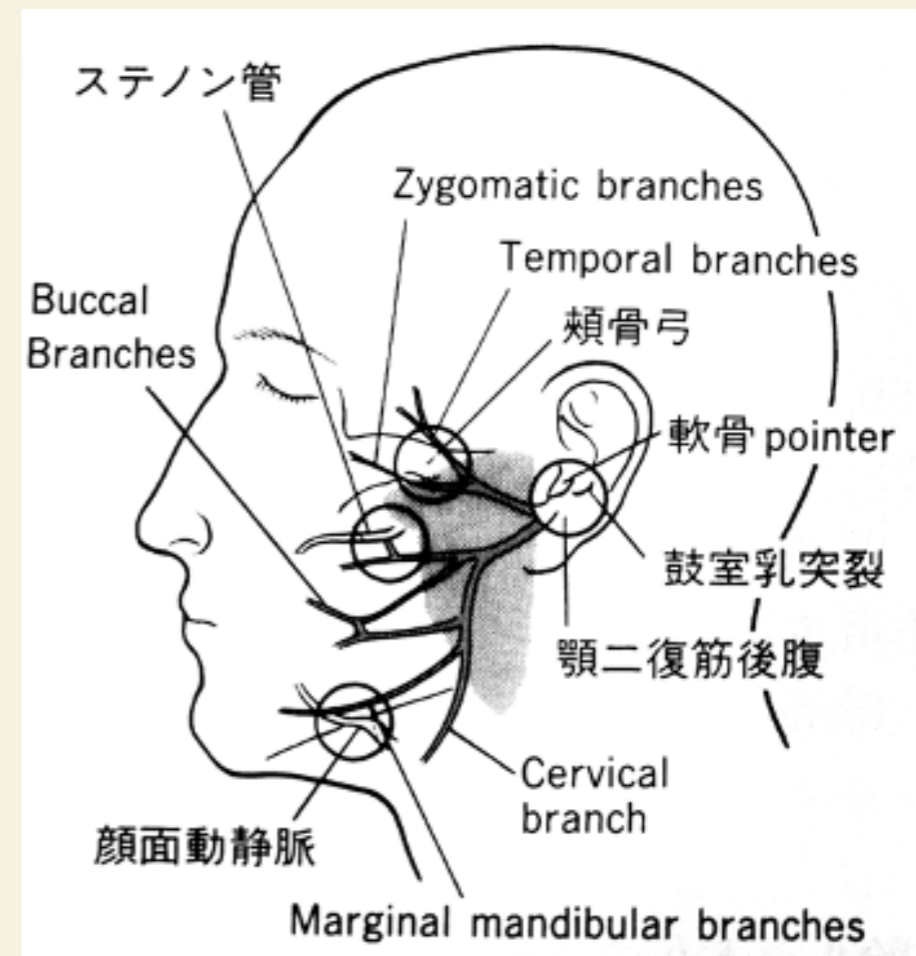
顔面神経麻痺

やまおか耳鼻咽喉科



顔面神経麻痺とは

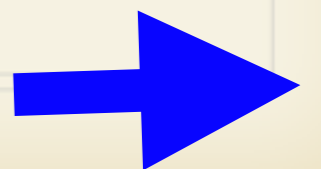
1. ある日、片方の顔の動きが悪くなり、少しずつ悪化します
2. 目が閉じにくくなったり、口角から水が漏れたりします
3. 舌半分の味覚が鈍くなったり、大きな音がうるさく感じたりすることもあります
4. 顔面神経という、顔を動かす神経の障害です



顔面神経麻痺の原因

	ベル麻痺	ハント症候群
原因	不明 ウイルス説 循環障害説	ヘルペスウイルス感染
症状	顔面麻痺	顔面麻痺 耳介帯状疱疹 聴力低下
抗ウイルス剤使用	少量	多量
予後（治癒＋改善）	80%	60%

<他に考えられる疾患> 脳梗塞、脳出血、顔面神経鞘腫 等



治療方法

～ <安静>

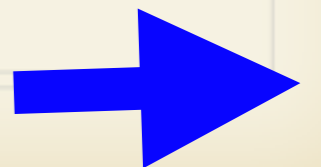
～ <ステロイド治療>

～ <神経機能改善剤>

～ リハビリテーション

～ 点眼薬（乾燥に対して）

～ 抗ウイルス剤



治り方

治りの良い条件

- 1) 治療開始までの**期間が短い** (**1週間以内**)
- 2) 年齢が**若い**
- 3) 始めの神経変性の度合いが**軽度なほど良い**

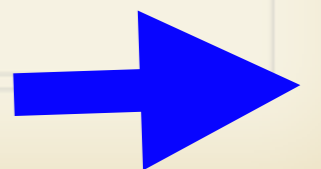
必ず治るわけではありません

治らなければ、麻痺は一生続きます

初期の段階でどれだけ治療ができたかで、将来の治りが決まります

人によって、動き始めるまでの期間に大きな差があります

数週から半年～1年くらいまで



治療の説明

初期治療の目的

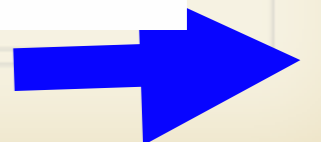
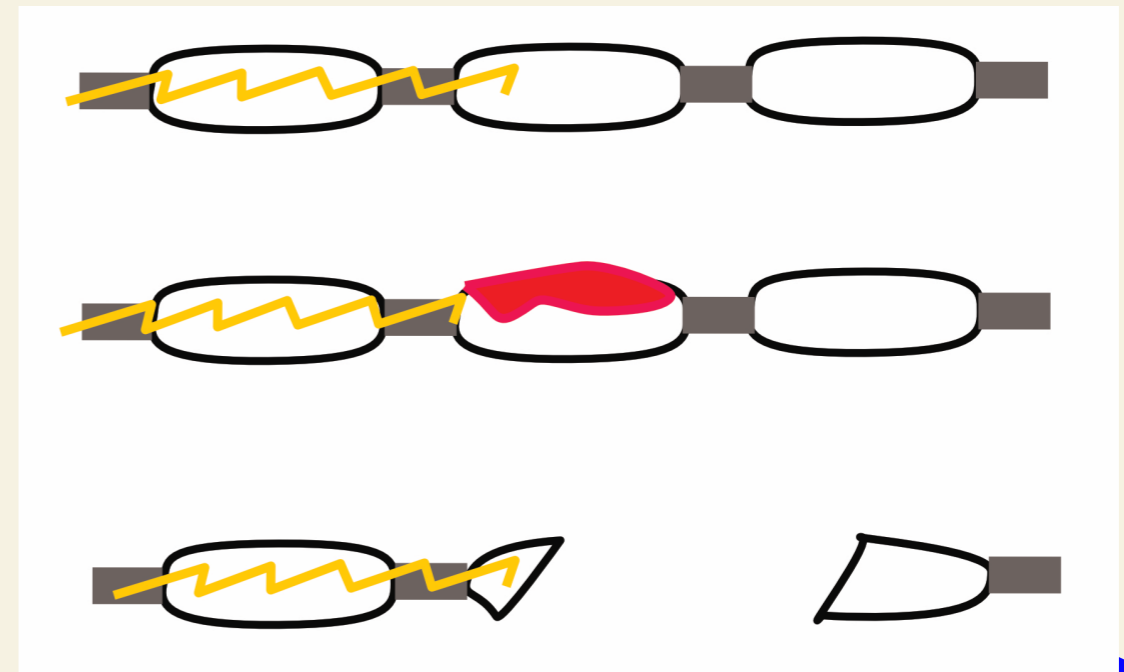
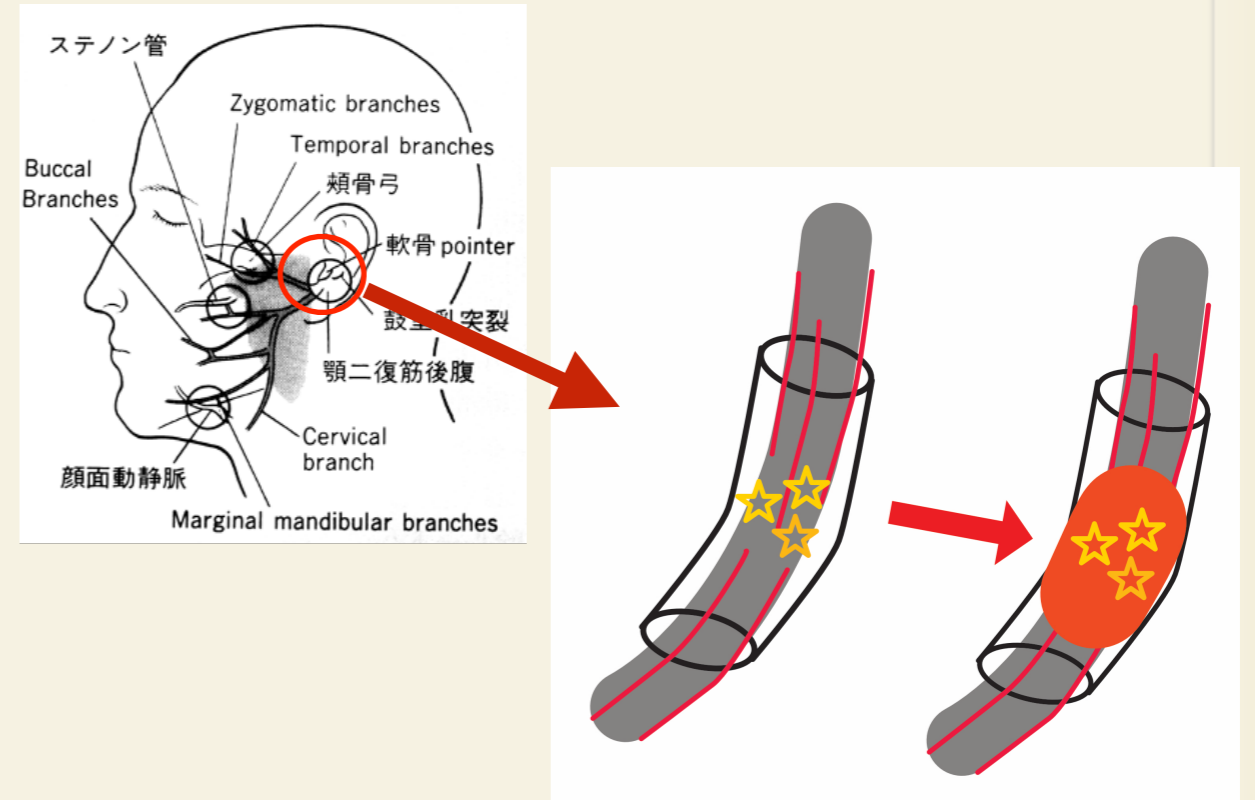
できるだけ炎症を抑えて、神経を守りたい
骨の管の中を神経が通るので、炎症を起こして神経が腫れると、血液が流れなくなって、余計に悪化する

神経変性の度合いで顔が動き始めるまでの期間が違う

電気が流れないだけなら2-3週で回復

被覆している細胞の障害で2-3ヶ月

神経が切れると半年~1年



治療の説明

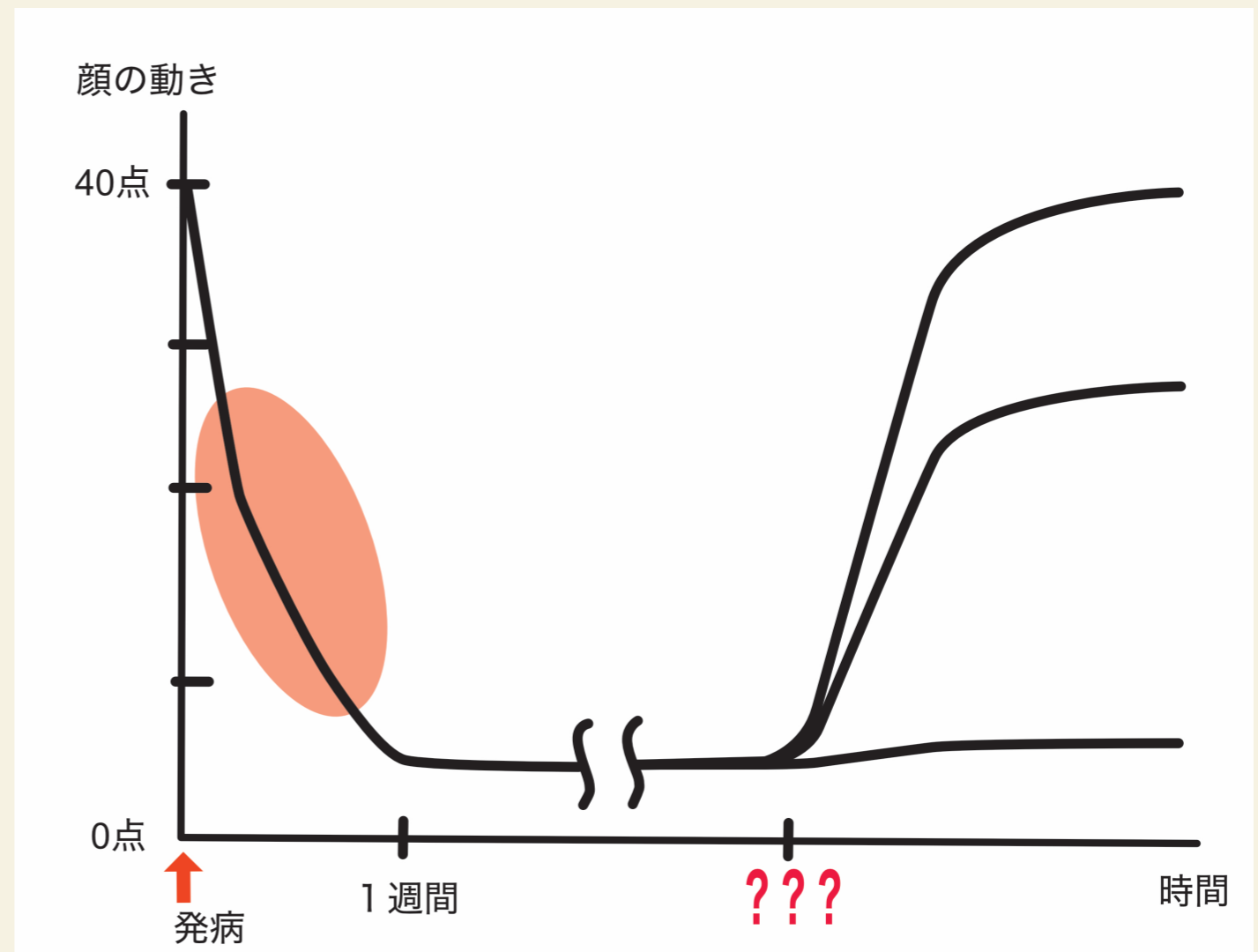
顔の動きは1週間くらいかけて悪くなってゆく

顔の動きは40点満点で点数をつける

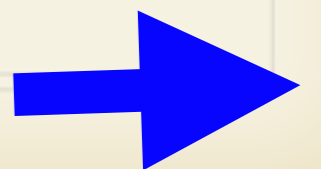
1週間で底になり、そのままの状態が続く

いつ動き始めるかは、神経変性の度合いによる

動き始めて、どこまで戻るかは、
始めの1週間でどれだけ神経を守
れたかによると言われている

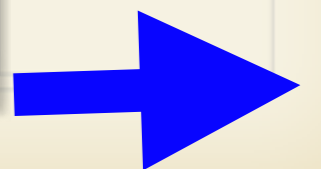
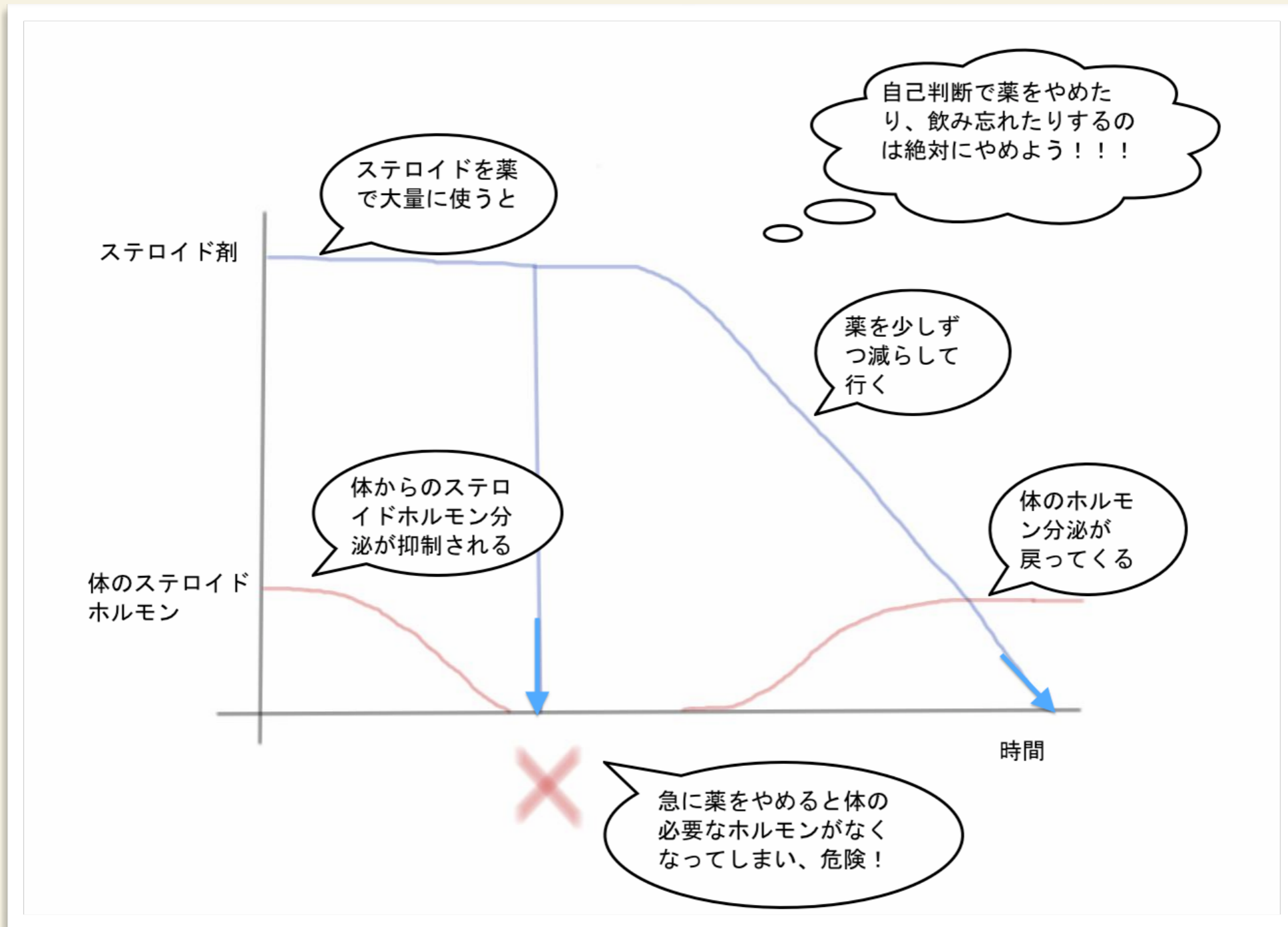


- ～ 糖尿病・高血圧・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・緑内障
- ～ B型肝炎・そのほかステロイド剤を使ってはいけない
病気がありますか？



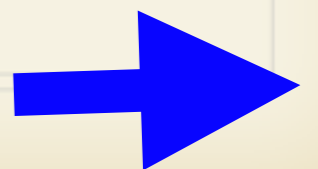
ステロイド剤の飲み方

〜 決められた量を決められた通りにきちんと内服していただくことが重要



ステロイド治療の副作用

- ～ 易感染性
- ～ 消化性潰瘍・糖尿病、高血圧、緑内障の悪化
- ～ ニキビ・顔のむくみ
- ～ 精神神経症状（不眠・ハイテンションになる）
- ～ B型肝炎の悪化(全員血液検査による感染の確認が必要)
- ～ など

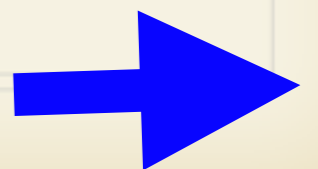
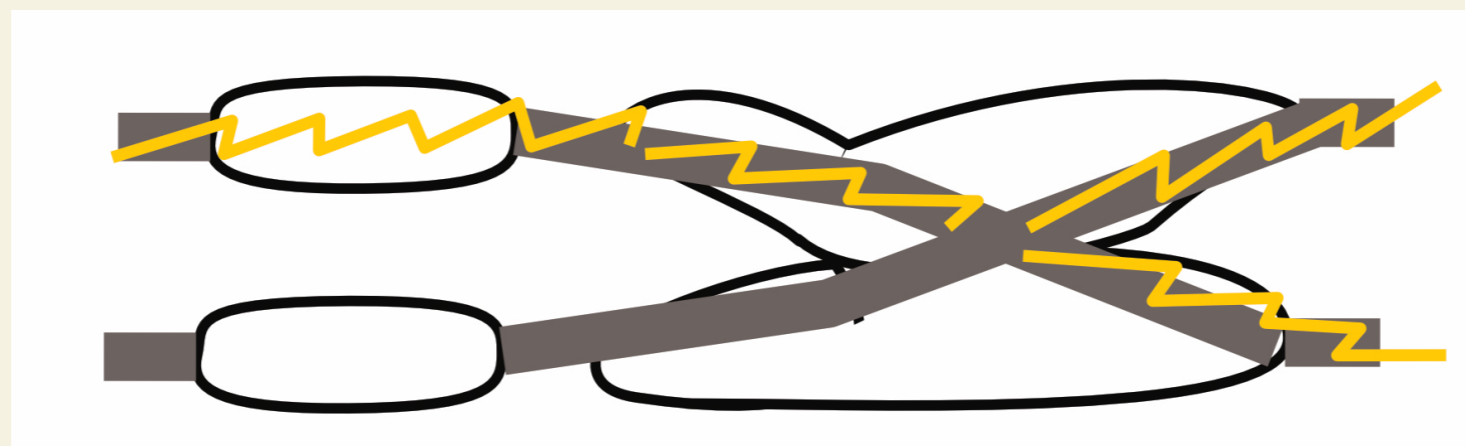
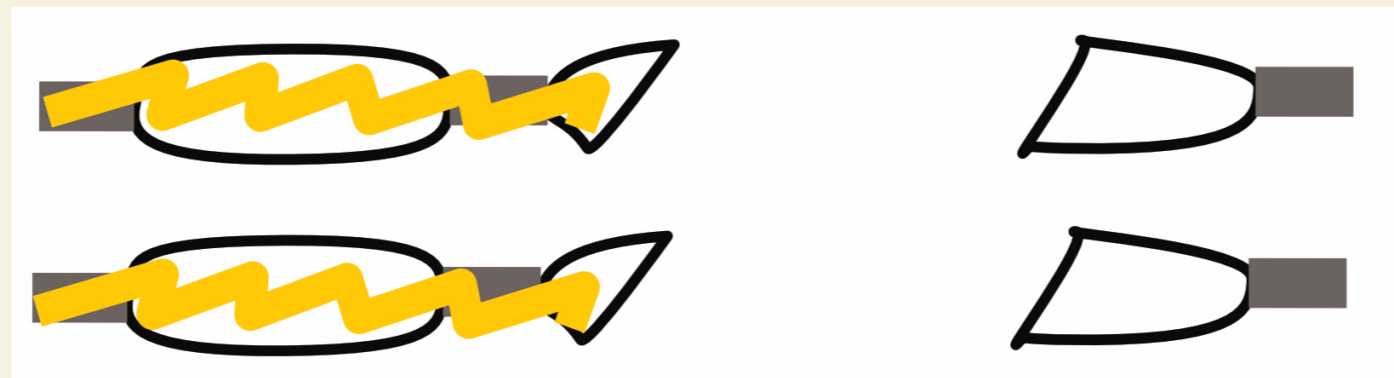


リハビリの指導

大切なのは、動かないからといって、無理に動かそうとしないこと

治った時に、神経が間違ってくっついてしまう

食べる時、口を動かすと、目も閉じるようになってしまう（ワニの目）



入院治療か外来治療か

入院治療：顔面麻痺が高度な方

外来治療：軽度の方

～ 入院治療のメリット

～ 安静がとれる

～ ステロイドの量が増やせる

～ 後悔が少ない

～ 入院治療のデメリット

～ 約2週間から1ヶ月間

入院しなければいけない

～ できるだけ早く入院しなければならぬ

